

## 公益社団法人日本地震学会 2016 年度定時社員総会議事録

1. 開催日時 平成 28 年 5 月 25 日 (火) 19 時 00 分～20 時 10 分

2. 開催場所 幕張メッセ国際会議場 302 室

3. 総社員数 140 名

4. 出席社員数 出席代議員総数 115 名 (定足数 71 名)  
内通常代議員 98 名  
役員代議員 17 名  
出席代議員数 (本人出席) 84 名  
出席代議員数 (委任状出席) 31 名

5. 議長 通常代議員 河原 純

6. 出席役員

会長 加藤 照之  
理事 古村 孝志  
理事 山岡 耕春  
理事 今西 和俊  
理事 内田 直希  
理事 香川 敬生  
理事 加藤 愛太郎  
理事 中川 和之  
理事 堀川 晴央  
理事 望月 公廣  
理事 山田 卓司  
理事 山野 誠  
監事 武村 雅之  
監事 鈴木 善和

7. 議事録作成者 事務局 中西 のぶ江

8. 決議事項

第 1 号議案：平成 27 年度事業報告書承認の件  
第 2 号議案：平成 27 年度収支決算報告書承認の件  
第 3 号議案：理事及び監事選任の件  
第 4 号議案：外部監事選任の件

## 第5号議案：名誉会員承認の件

### 9. 報告事項

1. 平成28年度事業計画の件
2. 平成28年度収支予算の件
3. その他

### 10. 議事の経過の要領及びその結果

今西常務理事から、定足数を充たす社員の出席が認められたので、定款第32条により公益社団法人日本地震学会2016年度定時社員総会を開催する旨の宣言があり、その後加藤会長より挨拶があった。引き続き議長に河原純氏を選出した。議長より、本日の議事の経過を議事録にまとめるにあたり、加藤照之会長、古村孝志副会長の理事2名を議事録署名人に選任したい旨を諮り、満場一致でこれを可決した。続いて、次の議案について逐次審議することとなった。

#### 第1号議案

平成27年度事業報告書承認の件  
議長の指名により、今西常務理事から平成27年度の事業報告書について、配布資料に基づき説明が行われた。これに対して議長は議案を諮り、特に質疑応答なく全会一致で本議案を承認した。

#### 第2号議案

平成27年度収支決算報告書承認の件  
議長の指名により、望月会計担当理事から平成27年度の収支決算報告書について、配布資料に基づき説明が行われた。社会活動基金の支出項目についての質問があり、中川普及行事担当理事が回答した。質疑応答の後、議長は議案を諮り、全会一致で本議案を承認した。

#### 第3号議案

理事及び監事選任の件  
議長の指名により、今西常務理事から、本定時社員総会の終結と同時に任期満了となる役員に代わり、新たに後任者の選任が必要となる旨の説明が行われた。理事候補者15名、監事候補者2名の選任について候補者1名毎に審議した結果、全会一致でこれを承認した。選任された理事及び監事は以下の通りである。なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。

理 事	山岡	耕春
理 事	岩田	貴樹
理 事	片尾	浩
理 事	河合	研志
理 事	木下	正高
理 事	佐藤	利典
理 事	竹中	博士
理 事	谷岡	勇市郎
理 事	津村	紀子

理 事	鶴岡	弘
理 事	中川	和之
理 事	馬場	俊孝
理 事	古村	孝志
理 事	松島	信一
理 事	山野	誠
監 事	石川	有三
監 事	加藤	照之

第 4 号議案 外部監事選任の件  
 議長の指名により、今西常務理事から、本定時社員総会の終結と同時に任期満了となる外部監事に代わり、新たに後任者の選任が必要となる旨、説明が行われた。これに対して、議長は議案を諮り、引き続き鈴木善和氏の外部監事選任を、全会一致で承認した。なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。また、選任された外部監事の報酬においても月額 4 万円とすることが承認された。

第 5 号議案 名誉会員承認の件  
 議長の指名により、加藤会長から阿部勝征氏、島崎邦彦氏を名誉会員に推挙する件について、配布資料に基づき説明が行われた。これに対して議長は議案を諮り、全会一致で承認した。

報告事項 1 平成 28 年度事業計画の件  
 平成 27 年度第 6 回理事会（平成 28 年 3 月 22 日開催）で承認された平成 28 年度事業計画について、今西常務理事から配布資料に基づき説明が行われたほか、川方表彰委員会委員長から新設された賞および表彰制度の活性化について、佐竹 IASPEI 委員長から ASC2016 年大会および IAG-IASPEI2017 年大会についての準備状況について説明が行われた後、質疑応答があった。ブックレットの刊行について昨年の事業計画に記載されていたが今年度は継続して行うのかとの質問があり、古村地震学を社会に伝える連絡会議議長より引き続きブックレットを刊行するための活動を行うとの回答があった。その他、若手育成企画について今年度の世話人より企画の紹介が行われた。

報告事項 2 平成 28 年度収支予算書の件  
 平成 27 年度第 6 回理事会（平成 28 年 3 月 22 日開催）で承認された平成 28 年度収支予算について、望月会計担当理事から配布資料に基づき説明が行われ、これについての質疑応答があった。参考資料の備考欄の記載について質問があり、IAG-IASPEI2017 年大会に関する支出については測地学会と折半となること、記載額が誤記ではないことが確認された。

## 報告事項

### その他

#### 1. 防災学術連携体について

加藤会長より防災学術連携体の活動について報告が行われた。平成 28 年熊本地震に関する記者説明会及び報告会等への参加報告のほか、内閣府が主催し 8 月に開催される防災推進国民大会への参加について紹介された。

#### 2. 民間地震予測業者への対応について

加藤会長より、代議員間でも懸念されていた GNSS を用いた民間地震予測業者の事業に大企業が協働する件に関して、会長と古村地震学を社会に伝える連絡会議議長が大企業の担当者との会談を行ったことが報告され、今後も同種の案件については丁寧な対応と研究者の考えを伝えていくべきであろうとの意見が述べられた。

## 11. 閉会

以上により本日の議事をすべて終了し、議長は閉会を宣言した。